

《女川原子力発電所の安全対策について紹介します》

女川原子力発電所では、2号機の安全対策工事を鋭意進めており、2022年度の工事完了を目指しています。シリーズでお伝えしている当発電所の安全対策について、今回は「電源の確保対策」をご紹介します。

シリーズ③ 電源を確保する

異なる種類の電源装置を高台に配備

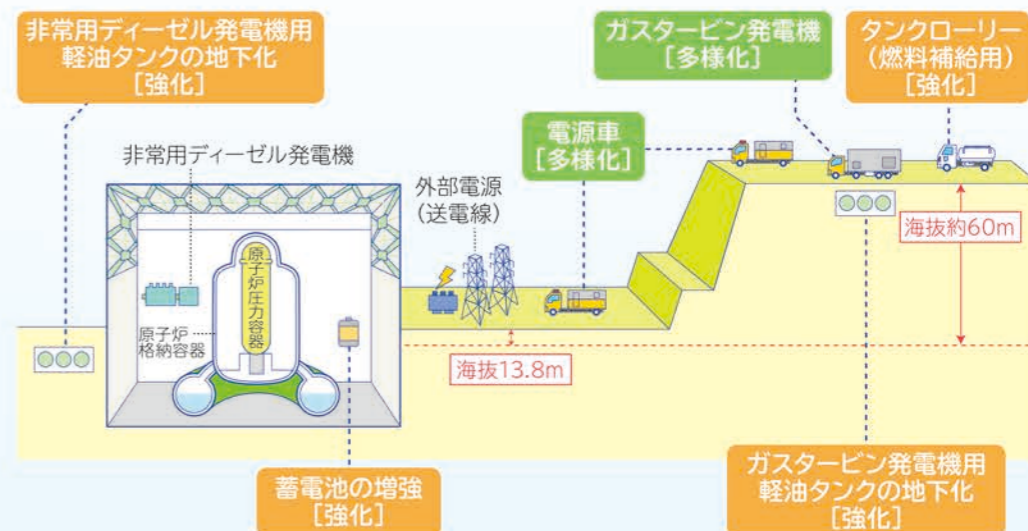
緊急時、いち早く原子力発電所を安定した状態にするためには、電源の確保が不可欠です。

当発電所では、計5回線の外部電源(送電線)や計8台設置している非常用ディーゼル発電機が使用できなくなった場合でも、津波の影響を受けない高台に配備するガスタービン発電機や電源車などのさまざまな電源装置により、必要な電気を供給し続けます。 **多様化**

また、こうした電源設備の配備に加え、緊急時、原子炉への注水設備などに電気を供給する既設の蓄電池の容量を増強します。 **強化**

さらに、ガスタービン発電機などの燃料となる軽油は、火災や竜巻などの影響を受けにくい地下に確保します。 **強化**

主な対策(イメージ図)



ガスタービン発電機
[多様化]

原子炉を安全に停止させるための機器などに使用する電気を供給



軽油タンクの地下化
[強化]

ガスタービン発電機などの燃料に使用する軽油を7日分確保

私は、原子力発電所の電源がすべて喪失するような事故が起こった場合でも、速やかに電気を供給するための設備であるガスタービン発電機の設置や蓄電池の増強工事に携わっています。さまざまな安全対策工事が進められている中で実施していますので、関係者と緊密に連携しながら工事に取り組んでいます。

今後も女川2号機の再稼働に向けて着実かつ円滑に安全対策工事を実施し、当発電所のさらなる安全性向上に努めてまいります。



保全部 電気グループ
伊藤 友章(新潟県出身)

《「映画やアニメの間取り模型展」を開催します》

女川原子力発電所では、地域総合事務所において、立体間取り作家として活躍するタカマノブオ氏が制作した模型24点の作品展を開催します。

内部まで忠実に再現された映画やアニメなどに登場する建物のミニチュア模型をご覧ください。そのストーリーに入り込んだような錯覚を抱くはずですよ。

ぜひ、皆さまお誘いあわせのうえお越しください。

●開催期間

2021年3月9日(火)
～21日(日) 10時～16時
(土・日・祝日も開催)

●会場

女川原子力発電所
地域総合事務所1階
(牡鹿郡女川町女川2丁目15-1)



入場
無料

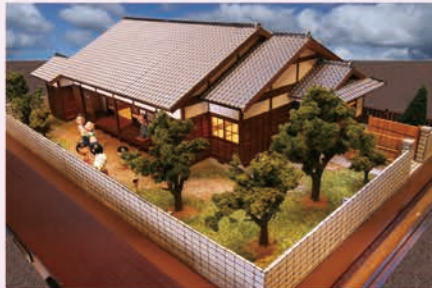


油屋(千と千尋の神隠し)

○ご来場の際は、検温、手指の消毒、マスク着用等にご協力をお願いします。
○入場を制限させていただく場合があります。

●お問い合わせ先 女川原子力発電所 地域総合事務所
電話番号:0225-54-3387(土・日・祝日を除く 9時～17時)

●展示作品 一例



磯野家(サザエさん)



サツキとメイの家(となりのトトロ)



野比のび太の家(ドラえもん)

《発電所付近の道路に融雪剤を散布しました》

1月6日、当社および構内協力企業は、積雪時の事故抑制を目的に、発電所周辺の道路(小積IC付近)に融雪剤を散布しました。

当日は、参加者6人が、歩いて路面状況を確認し、凍結箇所やカーブなどの危険と思われる場所へ重点的に散布しました。



融雪剤を散布する参加者

《海岸のボランティア清掃を実施しました》

女川原子力発電所構内協力企業の「GE日立・ニュークリアエナジー・インターナショナル・エルエルシ」は、このほど小屋取浜のボランティア清掃を行いました。

当日は、女川2号機の配管等の高度な耐震工事を行うために米国から来日した技術者を含む14人が、新型コロナウイルス感染防止対策を実施したうえで、小屋取浜に打ち寄せられた流木やゴミを拾い集めました。



ゴミを拾い集める参加者

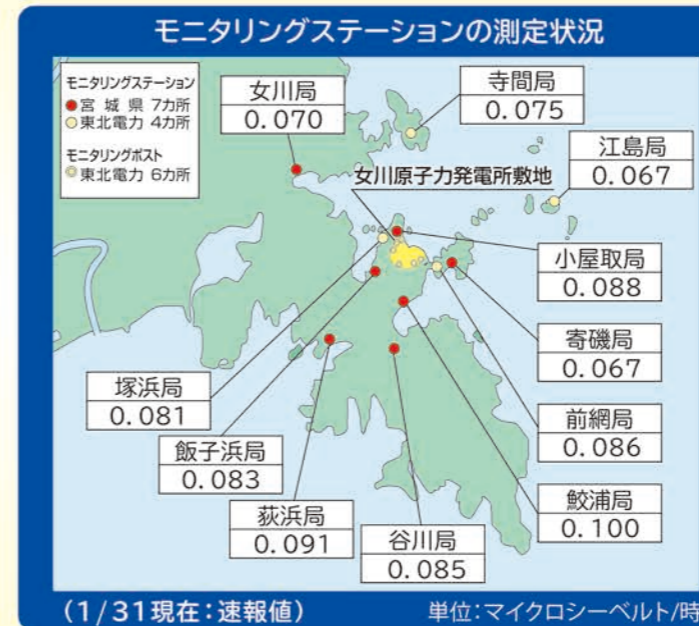


参加者と拾い集めたゴミ

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの2021年1月31日の測定値は、最大で0.047マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



(参考)モニタリングポストの最小値と最大値※3

日付	最小値 (μSv/h)	最大値 (μSv/h)
〈東北地方太平洋沖地震発生日〉		
2011年3月11日	0.027	0.064
〈地震発生後最大値〉		
2011年3月13日	1.8	21※4
〈地震発生から2年と至近2年の(4/1)値および前月値〉		
2012年4月1日	0.063	0.098
2013年4月1日	0.055	0.076
2019年4月1日	0.036	0.051
2020年4月1日	0.034	0.055
2021年1月1日	0.035	0.052
2021年1月31日	0.035	0.047

単位:マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02～0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。